

[特集] 青葉山の生物相

青葉山市有林（仙台市）のキノコ相

根本敬子*・移川 仁*・溝田浩二**

Fungal Flora of the Aobayama Area, Sendai City, Northeastern Japan

Takako NEMOTO, Jin UTSUSHIKAWA and Koji MIZOTA

要旨：青葉山市有林（仙台市）には、100万都市の市街地に隣接しているとは思えぬほど多様性に富んだ動植物が生息している。この森を環境教育の観点から捉え、フィールドミュージアムとして積極的に活用していくためには動植物の継続的な生態調査が欠かせない。1994年～2005年の11年余、青葉山市有林のキノコ相に関する継続的な調査を行なった結果、190種のキノコが確認された。

キーワード：青葉山市有林、キノコ相、フィールドミュージアム、生物多様性、環境教育

1. はじめに

青葉山は仙台市街地の西方に広がる緑濃い丘陵地であり、古くから“杜の都”の象徴として親しまれてきた。人口100万人の大都市の市街地に隣接しているとは思えぬほど多様性に富んだ動植物が息づいているこの丘陵地を、宮城教育大学環境教育実践研究センターではフィールドミュージアム（Field Museum）に選定し、これまで積極的に環境教育の場で活用してきた。フィールドミュージアム構想では、青葉山の動物や植物といった自然全体を生きた「標本」に、青葉山はそれらがあるがままの姿で展示してくれる「博物館」に見立てている。そして、それらの優れた素材を“環境教育”という観点から捉え、整理し、有機的につなげていくことで、子どもたちの無限の興味や関心を引き出し、育んでいくことを目標としている。

フィールドミュージアム構想は、大きく二つの柱から成り立っている。一つは青葉山の動植物の生息状況や分布の実態といった基礎調査を行うことであり、それらの生物相調査の成果を総合することによって、青葉山の自然の全体像を把握することである。もう一つは、それらの調査成果を教育という視点からアレンジし、有機的に関連づけ、それに基づいた環境教育プログラムを作成し、地元の小・中・高校の授業教材とし

て積極的に提供していくことである。この、フィールドミュージアム構想を通して、環境教育を、環境問題に関するたくさんの情報を一方的に詰め込む教室の授業という狭い枠から脱皮させ、小・中・高校の児童・生徒たちに教室と野外とをイキイキと連結させる実践の場とすることができる（伊沢，1998）。また、そうすることで、市民の財産としての青葉山をもっとも良い形で将来にわたって保全していくことも可能となるだろう。

本報告では、1994年7月～2005年12月までの11年余の間に実施した青葉山の植物相に関する調査結果を報告する。キノコは生態系内において還元者として物質循環を支える重要な生物群であるが、これまで青葉山市有林のキノコ相に関する研究は行なわれていなかった。

2. 調査地および調査方法

1) 調査地

調査を行なったのは、仙台市街地の西方に広がる青葉山市有林である（図1）。市有林は、北緯38度14～15分、東経140度51～52分に位置し、標高差は、市有林北端の三居沢入口（標高50m）から、市有林南端の青葉台（標高190m）にかけて約140mある。総面

*青葉山の緑を守る会，**宮城教育大学環境教育実践研究センター

積は130haであり、その中を起伏に富んだ遊歩道が網の目状に整備されている。

この地域の植生は暖温帯を代表する常緑広葉樹林と、冷温帯を代表する落葉広葉樹林との移行帯にあたり、中間温帯林が成立している。この植生を代表する自然林はモミ・ブナ林で、これが青葉山市有林の極相林である。ここではモミを主体として、イヌブナ、イヌシデ、アカシデ、アサダ、クリ、イタヤカエデなどの落葉高木が混生し、下生植物にはヤブムラサキ、アオキ、ヤブコウジ、オオバジャノヒゲ、ヒメカンスゲなどが多く生育している。現在は人手が加わって、コナラ、クリ、アカマツ等を交えた二次林に変わっている林分も少なくない。

2) 調査方法

青葉山の緑を守る会では、1994年7月～2005年12月までの11余年の間に、毎月1度のペースで青葉山自然観察会を実施してきた。キノコ相の調査は、主として観察会当日あるいは事前のコース下見の際に実施した。コースを歩きながらキノコを採集し、その場で同定・記録を行った。同定が困難な種に関しては持ち

帰って実体顕微鏡下で同定作業を行なったが、それでも同定ができなかったものは、一部専門家へ同定依頼を行なった。なお、キノコの目、科の配列、学名・和名・種の配列は、主として今関・本郷（1987, 1989）による「原色新日本菌類図鑑（保育社）」に従った。

3. 結果と考察

1) 確認されたキノコ

調査の結果、計190種のキノコが確認された（付表）。青葉山市有林からは987種の維管束植物が確認されている（溝田・移川, 2005; 移川・溝田, 2005）が、キノコは植物遺体か植物生体に大きく依存するため、植物が多様で、かつ安定した系が保たれていることが、キノコの多様性を高めていると考えられる。調査が進展すれば、さらに相当種のキノコを追加できると予想される。

2) キノコ種数の季節変化

付表をもとに、月別のキノコの出現種数をまとめたのが図2である。このグラフから、青葉山市有林では

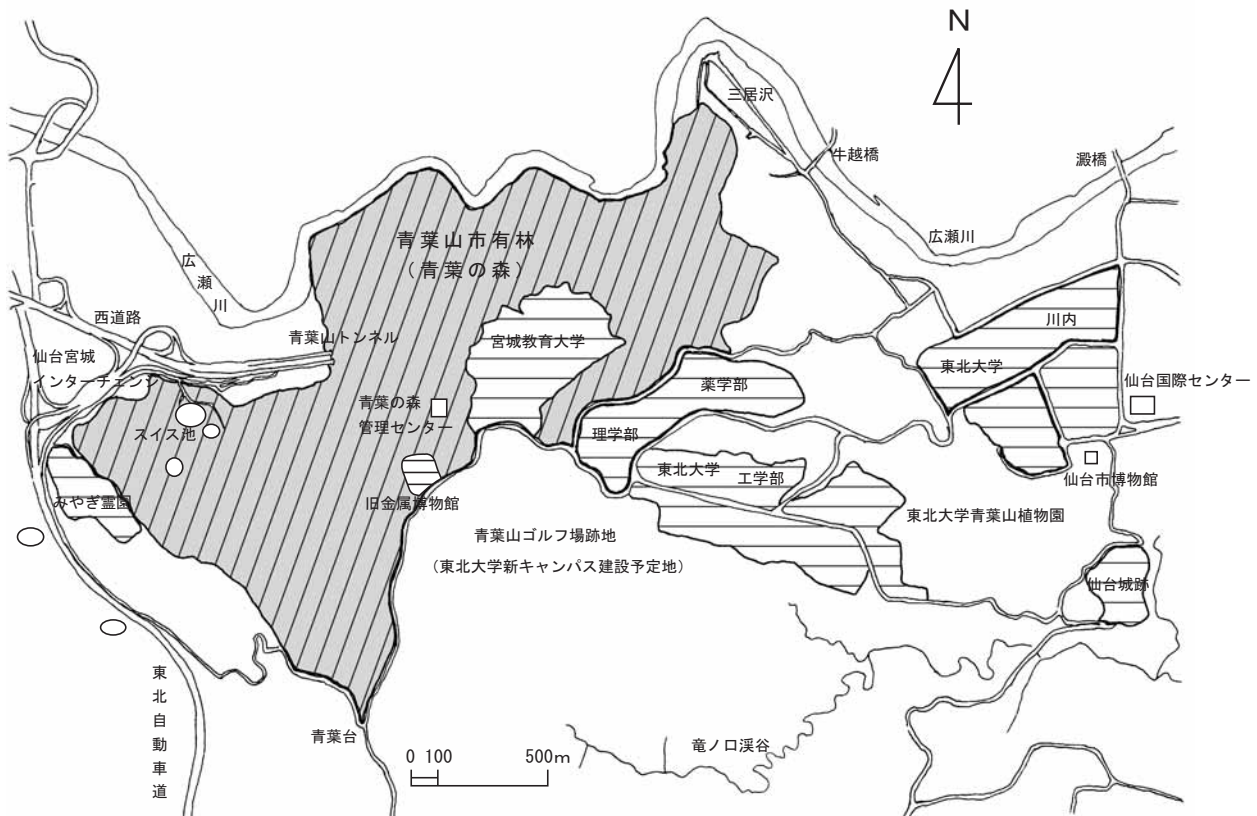


図1. 青葉山市有林の概略図

ほぼ一年中キノコを観察することができることが読み取れる。種数は梅雨明けが近い7月中旬頃から増えはじめ、8月には高温・乾燥によって一時的に減少に転じるものの、秋雨前線が活動する9月～10月にかけてキノコの発生種数はピークに達する。青葉山市有林でより多くのキノコを観察できるのは、この時期である。

3) 植生とキノコ相の関係

青葉山市有林の植生ごとに観察できるキノコを整理すると、およそ以下ようになる。

[アカマツ林] アミタケ、ハツタケ、マツオウジ、ハナビラタケ、テングタケ、ドクベニタケ、クサハツ、マツカサキノコモドキ、マツタケなど。

[コナラ林] クリタケ、タマゴタケ、エノキタケ、カワラタケ、ウラベニホテイシメジ、クサウラベニタケ、ツルタケ、ムラサキシメジ、ホウキタケ、ハナビラニカワタケ、ツチカブリなど。

[モミ、スギ・ヒノキ林] スギヒラタケ、オオイチョウタケ、モミタケ、ニガクリタケ、アカモミタケ、ウスタケなど。

[ブナ、イヌブナ林] ナラタケ、ヒラタケ、キクラゲ、チチタケ、ドクツルタケ、モリノカレバタケなど。

[草地、竹やぶ] アミガサタケ、ヒトヨタケ、ハタケシメジ、ツチグリ、キツネタケ、ムジナタケ、ハラタケ、ホウライタケ、キヌガサタケ、ホコリタケ、ドクササコなど。

4) 青葉山の毒キノコ

キノコの食毒についてはかなり多くの迷信が深く浸透している。例えば、「派手な色のキノコは有毒」、「茎

が縦にきれいに裂けるものは食べられる」、「ナメクジや虫に食われていないものは有毒」、「辛味・苦味のあるものは毒キノコ」「味のいいキノコは毒ではない」「塩漬けにすれば毒キノコでも中毒しない」「香りのよいキノコは毒キノコではない」「煮汁に銀のサジを入れて黒変する場合は有毒」「ナスと一緒に煮ると毒が消える」「油で調理すると毒消しになる」など枚挙に暇がないが、これらはすべて非科学的な迷信である(根本, 2000)。日本国内で現在知られている毒キノコは約150種であり、特に注意すべき種類は中毒例の多い50種程度である(小山, 1992)。青葉山市有林で見られるキノコでは、サツマモドキ、カキシメジ、スギヒラタケ、ヒロヒダタケ、サクラタケ、テングタケ、ドクツルタケ、タマゴドクツルタケ、コテングタケモドキ、シロテングタケ、タマシロオニタケ、ニガクリタケ、オオシビレタケ、ミドリシメジ、クサウラベニタケ、シロイボガサタケ、コショウイグチ、ニセクロハツ、オキナクサハツ、ハナホウキタケの20種が毒を持っており、注意を要する。

4. おわりに

野鳥や花を見て楽しむように、腰をしゃがめてキノコをじっくりと観察し、キノコの形や色彩の多様性には驚き、キノコが森林生態系の中で果たしている役割について想像力を膨らませた経験がある人はどれほどいるだろうか。森の中を歩いているとき、つい動物や植物にばかり関心が偏ってしまいがちであるが、キノコに目を向けると足下の自然が目に入るようになり、さらに、目に見えない落ち葉の下、地面の下の世界にも目を向けるようになる。死んだり、不要になった生物体を自然の生命のサイクルの中に再生させる、いわば、生と死の橋渡し役を果たしているキノコは、その種類の数だけバラエティに富んだ仕組みや生活があり、少し心の目を開くだけで実に不思議で楽しい世界を見せてくれる。本稿がそんなキノコを楽しむきっかけの一助となれば望外の喜びである。

青葉山は、地下鉄東西線の建設、東北大学キャンパスの青葉山移転等で環境の悪化を免れない状況にある。今後どのように青葉山の自然が変貌を遂げていくのか、キノコ相の変化がそれを知らせてくれるはずで

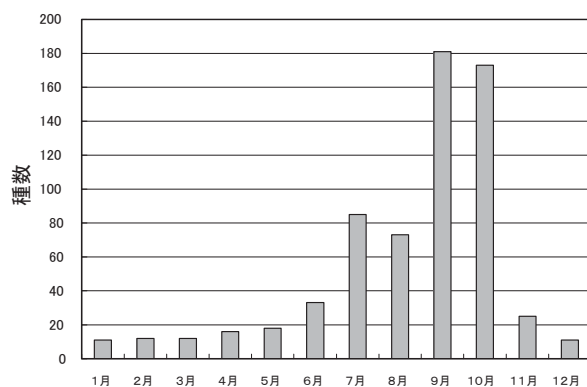


図2. 月毎に観察できるキノコ種数

ある。本報が青葉山の自然環境の適正な保全・管理を進める上での基礎資料として、少しでも役に立てばと願ってやまない。

謝 辞

これまで青葉山市有林の生物相調査を継続することができたのは、青葉山の緑を守る会（植村千枝会長）のメンバーや宮城教育大学環境教育実践研究センターの学生・スタッフの協力があったからこそである。また、青葉の森管理センターをはじめとする関係機関の皆様には諸種の便宜をはかっていただいた。この場をお借りして心からお礼申し上げたい。

引用文献

今関六也・本郷次雄（編著），1987. 原色日本新菌類図鑑（1）. 保育社. 325pp.

今関六也・本郷次雄（編著），1989. 原色日本新菌類図鑑（2）. 保育社. 315pp.

伊沢紘生，1998. EECプロジェクト研究「仙台市内広瀬川及び名取川流域でのSNC構想の実践」. 宮城教育大学環境教育研究紀要，1:63-70.

小山昇平，1992. 日本の毒キノコ150種. ほおずき書籍. 216pp.

溝田浩二・移川 仁，2005. 青葉山市有林（仙台市）の植物相（1）. 宮城教育大学環境教育研究紀要，8:95-104.

根本敬子，2000. キノコのくに漫遊記. 河北新報社. 255pp.

移川 仁・溝田浩二，2005. 青葉山市有林（仙台市）の植物相（2）. 宮城教育大学環境教育研究紀要，8:105-112.

付表. 青葉山で確認されたキノコとその発生時期および発生場所

科名	種名	発生時期(月)	発生場所
ヒラタケ科	1. キヒラタケ <i>Phyllotopsis nidulans</i>	⑥⑦ ⑨⑩	木材腐朽
〃	2. ヒラタケ <i>Pleurotus ostreatus</i>	⑨⑩⑪	広葉樹
〃	3. ウスヒラタケ <i>P. pulmonarius</i>	⑤⑥ ⑨⑩	広葉樹
〃	4. マツオウジ <i>Lentinus lepideus</i>	⑥⑦ ⑨	針葉樹
〃	5. スエヒロタケ <i>Schizophyllum commune</i>	⑤⑥ ⑨⑩	木材腐朽
ヌメガサ科	6. ヒメサクラシメジ <i>Hygrophorus capreolarius</i>	⑨⑩	縦林内地上
〃	7. サクラシメジ <i>H. russula</i>	⑨⑩	広葉樹林
〃	8. アカヤマタケ <i>H. conica</i>	⑨⑩	広葉樹林内地上
〃	9. ヒメダイダイタケ <i>Hygrocybe aurantia</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	10. アカヌマベニタケ <i>H. miniata</i>	⑦⑧⑨⑩	林内地上
〃	11. ベニヒガサ <i>H. cantharellus</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	12. ワカクサタケ <i>H. psittacina</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
キノコ科	13. オシロイシメジ <i>Lyophyllum connatum</i>	⑨⑩	林内路傍
〃	14. ハタケシメジ <i>L. decastes</i>	⑨⑩⑪	路傍、畑
〃	15. シヤカシメジ <i>L. fumosum</i>	⑨⑩	広葉樹林内地上
〃	16. ウラムラサキ <i>Laccaria amethystea</i>	⑨⑩	林内地上
〃	17. キツネタケ <i>L. laccata</i>	⑥⑦ ⑨⑩	路傍
〃	18. カレバキツネタケ <i>L. vinaceoavelleana</i>	⑥⑦ ⑨⑩	路傍
〃	19. アオイヌシメジ <i>Clitocybe odora</i>	⑨⑩	広葉樹林内地上
〃	20. ムラサキシメジ <i>Lepista nuda</i>	⑩⑪	雑木林地上
〃	21. コムラサキシメジ <i>L. sordida</i>	⑦ ⑨⑩	路傍、畑
〃	22. サマツモドキ★ <i>Tricholomopsis rutilans</i>	⑦ ⑨⑩	杉林、松林
〃	23. ミネシメジ <i>Tricholoma saponaceum</i>	⑨⑩	縦林、赤松林地上
〃	24. カキシメジ★ <i>T. ustale</i>	⑨⑩	雑木林地上
〃	25. ナラタケ <i>Armillariella mellea</i>	⑨⑩⑪	広葉樹
〃	26. ナラタケモドキ <i>A. tabescens</i>	⑧⑨⑩	広葉樹
〃	27. オオイチョウタケ <i>Leucopaxillus giganteus</i>	⑧⑨⑩	橡林地上
〃	28. モミタケ <i>Catathelasma ventricosum</i>	⑧⑨	縦林地上
〃	29. スギヒラタケ★ <i>Pleurocybella porrigens</i>	⑨⑩	杉倒木
〃	30. エセオリミキ <i>Collybia butyracea</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	31. モリノカレバタケ <i>Collybia dryophila</i>	⑦ ⑨⑩	雑木林地上
〃	32. コガネカレバタケ <i>C. subsulphures</i>	⑦ ⑨	赤松林地上
〃	33. アマタケ <i>C. confluens</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	34. ムキタケ <i>Panellus serotinus</i>	⑨⑩	広葉樹
〃	35. ツエタケ <i>Oudemansiella radicata</i>	⑦⑧⑨⑩	林内地上

科名	種名	発生時期（月）	発生場所
ヒツジ科	36. ヒロヒダタケ★ <i>Oudemansiella platyphylla</i>	⑦⑧⑨⑩	広葉樹地上
〃	37. スギエダタケ <i>Strobilurus ohshimae</i>	⑨⑩⑪	杉林
〃	38. ハナオチバタケ <i>Marasmius pulcherripes</i>	⑦⑧⑨⑩	広葉樹林地上
〃	39. スジオチバタケ <i>M. purpureostriatus</i>	⑧⑨⑩	広葉樹林
〃	40. オオホウライタケ <i>M. maximus</i>	⑦ ⑨⑩	林内、庭
〃	41. センボンクヌギタケ <i>Mycena laevigata</i>	⑨⑩	針葉樹
〃	42. チシオタケ <i>M. haematopoda</i>	⑦ ⑨⑩	広葉樹朽木
〃	43. サクラタケ★ <i>M. pura</i>	⑦ ⑨	林内
〃	44. ニセマツカサシメジ <i>Baeospora myosura</i>	①② ⑩⑪	松球果
〃	45. エノキタケ <i>Flammulina velutipes</i>	①②③ ⑫	広葉樹
テングタケ科	46. テングタケ★ <i>Ananita pantherina</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	47. ツルタケ <i>A. vaginata</i> var. <i>vaginata</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	48. カバイロツルタケ <i>A. vaginata</i> var. <i>fulva</i>	⑨⑩	林内地上
〃	49. タマゴタケ <i>A. hemibapha</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	50. ドクツルタケ★ <i>A. virosa</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	51. タマゴテングタケ★ <i>A. phalloides</i>	⑨⑩	林内地上
〃	52. コテングタケモドキ★ <i>A. pseudoporphyria</i>	⑨⑩	林内地上
〃	53. コタマゴテングタケ <i>A. citrina</i> var. <i>citrina</i>	⑨⑩	林内地上
〃	54. シロテングタケ★ <i>A. neoovoidea</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	55. タマシロオニタケ★ <i>A. abrupta</i>	⑨⑩	林内地上
〃	56. ハイカグラテングタケ <i>A. sp.</i>	⑧⑨⑩	広葉樹林内
〃	57. シロオニタケ <i>A. virgineoides</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	58. コシロオニタケ <i>A. castanopsidis</i>	⑧⑨⑩	林内地上
ハラタケ科	59. カラカサタケ <i>Macrolepiota procera</i>	⑦ ⑨⑩	草地、芝生
〃	60. キツネノハナガサ <i>Leucoprinus fragilissimus</i>	⑦⑧⑨⑩	草地、芝生
〃	61. ハラタケ <i>Agaricus campestris</i>	⑦ ⑨⑩	草地、芝生
〃	62. ザラエノハラタケ <i>A. subrutilescens</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	63. シロオハラタケ <i>A. arvensis</i>	⑦⑧⑨⑩	林内草地
〃	64. ウスキノモリノカサ <i>A. abruptibulbus</i>	⑦⑧⑨⑩	林内草地
〃	65. コガネタケ <i>Phaeolepiota aurea</i>	⑨⑩	林内
ヒトヨタケ科	66. ササクレヒトヨタケ <i>Coprinus comatus</i>	⑦⑧⑨⑩	路傍、畑地
〃	67. マグソヒトヨタケ <i>C. sterquilinus</i>	⑦⑧⑨⑩	路傍、畑地
〃	68. ヒトヨタケ <i>C. atramentarius</i>	⑥⑦ ⑨⑩⑪	路傍、畑地
〃	69. キララタケ <i>C. micaceus</i>	⑦ ⑨⑩	広葉樹倒木
〃	70. ムジナタケ <i>Psathyrella velutina</i>	⑦ ⑨⑩	林内、草地
〃	71. イタチタケ <i>P. candolliana</i>	⑦ ⑨⑩	広葉樹朽木
〃	72. センボンクズタケ <i>P. multissima</i>	⑨⑩	林内朽木

科名	種名	発生時期(月)	発生場所
朽木科	73. フミツキタケ <i>Agrocybe praecox</i>	⑥⑦ ⑨⑩	路傍
モミタケ科	74. モエギタケ <i>Stropharia aeruginosa</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	75. サケツバタケ <i>S. rugosoannulata</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	76. クリタケ <i>Naematoloma sublateritium</i>	⑩⑪	木材腐朽
〃	77. ニガクリタケ★ <i>N. fasciculare</i>	④⑤⑥ ⑩⑪⑫	樹木上
〃	78. オオシビレタケ★ <i>Psilocybe subaeruginascens</i>	⑦⑧⑨	路チップ上
〃	79. スメリスギタケモドキ <i>Pholiota aurivella</i>	⑨⑩	広葉樹上
〃	80. ツチスギタケ <i>P. terrestris</i>	⑨⑩⑪	林内、草地
〃	81. センボンイチメガサ <i>Kuehneromyces mutabilis</i>	⑦⑧⑨⑩	針葉樹
カサタケ科	82. アシナガスメリ <i>Hebeloma spoliatum</i>	⑧⑨⑩	林内の糞尿痕
〃	83. キンチャフウセンタケ <i>Cortinarius aureobrunneus</i>	⑨⑩	広葉樹林内地上
〃	84. ムラサキアブラシメジモドキ <i>C. salor</i>	⑨⑩	林内地上
〃	85. アブラシメジ <i>C. elatior</i>	⑨⑩	林内地上
〃	86. スメリササタケ <i>C. pseudosalor</i>	⑨⑩	林内地上
〃	87. サザナミツバフウセンタケ <i>C. bovinus</i>	⑨⑩	松林内地上
〃	88. ミドリスギタケ★ <i>Gymnopilus aeruginosus</i>	⑧⑨⑩	朽木上
イッポンシメジ科	89. クサウラベニタケ★ <i>Rhodophyllus rhodopolius</i>	⑧⑨⑩	広葉樹林内地上
〃	90. キイボガサタケ <i>R. murraini</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	91. シロイボガサタケ★ <i>R. murraini f. albus</i>	⑨⑩	林内地上
〃	92. ウラベニホテイシメジ <i>R. crassipes</i>	⑨⑩	広葉樹林内地上
〃	93. コンイロイッポンシメジ <i>R. cyanoniger</i>	⑧⑨⑩	広葉樹林内地上
カサタケ科	94. オウギタケ <i>Gomphidius roseus</i>	⑦ ⑨⑩	針葉樹林内地上
〃	95. クギタケ <i>Chroogomphus rutilus</i>	⑦ ⑨⑩	針葉樹林内地上
ホウグチ科	96. セイタカイグチ <i>Boletellus russellii</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
イグチ科	97. アミタケ <i>Suillus bovinus</i>	⑦ ⑨⑩	松林地上
〃	98. スメリイグチ <i>S. luteus</i>	⑦ ⑨⑩	松林地上
〃	99. チチアワタケ <i>S. granulatus</i>	⑦ ⑨⑩	松林地上
〃	100. コショウイグチ★ <i>Chalciporus piperatus</i>	⑦ ⑨⑩	松林地上
〃	101. スメリコウジタケ <i>Aureoboletus thibetanus</i>	⑦ ⑨⑩	松林地上
〃	102. アメリカウラベニイロガワリ <i>Boletus subvelutipes</i>	⑦ ⑨⑩	松林地上
〃	103. ニガイグチモドキ <i>Tylopilus neofelleus</i>	⑨⑩	林内地上
〃	104. アカヤマドリ <i>Leccinum extremiorientale</i>	⑧⑨⑩	広葉樹地上
〃	105. シロヤマイグチ <i>L. holopus</i>	⑨⑩	広葉樹地上
ベニタケ科	106. シロハツモドキ <i>Russula japonica</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	107. クロハツ <i>R. nigricans</i>	⑦⑧⑨	林内地上
〃	108. ニセクロハツ★ <i>R. subnigricans</i>	⑧⑨⑩	椎林、檜林地上
〃	109. クサハツ <i>R. foetens</i>	⑧⑨⑩	林内地上

科名	種名	発生時期（月）	発生場所
ベニタケ科	110. オキナクサハツ★ <i>Russula senecis</i>	⑨⑩	林内地上
〃	111. カワリハツ <i>R. cyanoxantha</i>	⑨⑩	林内地上
〃	112. ニオイコベニタケ <i>R. mariae</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	113. ドクベニタケ <i>R. emetica</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	114. チシオハツ <i>R. sanguinea</i>	⑧⑨⑩	松林地上
〃	115. ニシキタケ <i>R. aurata</i>	⑨⑩	林内地上
〃	116. チチタケ <i>Lactarius volemus</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	117. ヒロハウスズミチチタケ <i>L. subplinthogalus</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	118. キチチタケ <i>L. chrysorrheus</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	119. キハツタケ <i>L. flavidulus</i>	⑨⑩	縦林内地上
〃	120. アカモミタケ <i>L. laeticolorus</i>	⑨⑩	縦林内地上
〃	121. ハツタケ <i>L. hatsudake</i>	⑨⑩	松林内地上
アンズタケ科	122. アンズタケ <i>Cantharellus cibarius</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	123. アンズタケモドキ <i>C. cantharellus</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	124. ヒナアンズタケ <i>C. minor</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	125. トキイロラッパタケ <i>C. luteocomus</i>	⑨⑩	松林内地上
〃	126. ベニウスタケ <i>C. cinnabarinus</i>	⑧⑨⑩	林内地上
シロウメタケ科	127. ベニナギナタタケ <i>Clavulinopsis miyabeana</i>	⑨⑩	林内
〃	128. フサタケ <i>Pterula multifida</i>	⑨⑩	枯木、腐木
フサヒメホウキタケ科	129. フサヒメホウキタケ <i>Clavicorna pyxidata</i>	⑨⑩	林内腐木
ホウキタケ科	130. ホウキタケ <i>Ramaria botrytis</i>	⑨⑩	林内地上
〃	131. ハナホウキタケ★ <i>R. formosa</i>	⑨⑩	林内地上
ラッパタケ科	132. ウスタケ <i>Gomphus floccosus</i>	⑧⑨⑩	林内地上
キノコ科	133. ハナウロコタケ <i>Stereopsis burtianum</i>	⑨⑩	林内地上
ハナヒラタケ科	134. ハナヒラタケ <i>Sparassis crispa</i>	⑥⑦ ⑨	針葉樹褐色腐朽
イボタケ科	135. イボタケ <i>Thelephora terrestris</i>	⑨⑩	広葉樹林内地上
〃	136. モミジタケ <i>T. palmata</i>	⑦⑧⑨⑩⑪	広葉樹林内地上
〃	137. コウタケ <i>Sarcodon aspratus</i>	⑨⑩	林内地上
〃	138. ケロウジ <i>S. scabrosus</i>	⑨⑩	林内地上
ニギヨウタケ科	139. コウモリタケ <i>Albatrellus dispansus</i>	⑧⑨⑩	針葉樹林内地上
カキノコ科	140. アミヒラタケ <i>Polyporus squamosus</i>	⑦⑧⑨⑩	白色腐朽
〃	141. アミスギタケ <i>P. arcularius</i>	⑥⑦⑧⑨⑩	白色腐朽
〃	142. オツネンタケモドキ <i>P. brumalis</i>	①②③ ⑩⑪⑫	白色腐朽
〃	143. アシグロタケ <i>Polyporellus badius</i>	③④⑤⑥⑦⑧⑨	朽木
〃	144. ウチワタケ <i>Microporus flabelliformis</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	白色腐朽
〃	145. ヒトクチタケ <i>Cryptoporus volvatus</i>	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	松、白色腐朽
〃	146. マスタケ <i>Laetiporus sulphureus</i>	⑦⑧⑨⑩	褐色腐朽

科名	種名	発生時期(月)	発生場所
カキノ科	147. シロカイメンタケ <i>Tyromyces sambuceus</i>	⑥⑦⑧⑨⑩⑪	褐色腐朽
〃	148. アオゾメタケ <i>Oligoporus caesius</i>	⑦⑧⑨⑩	褐色腐朽
〃	149. ニッケイタケ <i>Coltricia cinnamomea</i>	⑥⑦⑧⑨⑩⑪	林内地上
〃	150. ヒイロタケ <i>Pycnoporus coccineus</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	白色腐朽
〃	151. カワラタケ <i>Coriolus versicolor</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	白色腐朽
〃	152. カイガラタケ <i>Lenzites betulina</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	白色腐朽
〃	153. ハカワラタケ <i>Trichaptum bifforme</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	白色腐朽
〃	154. エゴノキタケ <i>Daedaleopsis styracina</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	白色腐朽
マンネ科	155. マゴジャクシ <i>Ganoderma neojaponicum</i>	⑦⑧⑨⑩⑪	針葉樹枯木
〃	156. コフキササルノコシカケ <i>Elfvigia applanata</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	針葉樹、白色腐朽
カバコ科	157. カバノアナタケ <i>Inonotus obliquus</i>	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	樺、白色腐朽
ツチグリ科	158. ツチグリ <i>Astraeus hygrometricus</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
クチベニ科	159. クチベニタケ <i>Calostoma japonicum</i>	⑦⑧⑨⑩	山地上
チャダコ科	160. スジチャダイゴケ <i>Cyathus striatus</i>	⑧⑨⑩⑪	林内朽木
ヒメツチグリ科	161. エリマキツチグリ <i>Geastrum triplex</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	162. フクロツチガキ <i>G. saccatum</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
ホリタケ科	163. ノウタケ <i>Calvatia cratiformis</i>	⑥⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	164. ヒメホコリタケ <i>Lycoperdon hiemale</i>	⑥⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	165. ホコリタケ <i>L. perlatum</i>	⑥⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	166. チビホコリタケ <i>L. pusillum</i>	⑥⑦ ⑨⑩	林内地上
アカコ科	167. カゴタケ <i>Ileodictyon gracile</i>	⑦⑧⑨	林内地上
〃	168. サンコタケ <i>Pseudocolus schellenbergiae</i>	⑥⑦ ⑨	竹林、草地
スポン科	169. キツネノエフデ <i>Mutinus bambusinus</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	170. キヌガサタケ <i>Dictyophora indusiata</i>	⑦ ⑨⑩	竹林内地上
プロトフォルス科	171. シラタマタケ <i>Kobayasia nipponica</i>	⑧⑨⑩	松林内地下
シキクラゲ科	172. ハナビラニカワタケ <i>Tremella foliacea</i>	④⑤ ⑨⑩⑪	広葉樹上
クラゲ科	173. キクラゲ <i>Auricularia auricula</i>	④⑤ ⑨⑩	広葉樹上
〃	174. アラゲキクラゲ <i>A. polytricha</i>	④⑤ ⑨⑩	広葉樹上
ヒメクラゲ科	175. ヒメキクラゲ <i>Exidia glandulosa</i>	④⑤ ⑨⑩	枯木上
〃	176. タマキクラゲ <i>E. uvapassa</i>	④⑤ ⑨⑩	枯木上
ズキン科	177. ズキンタケ <i>Leotia lubrica f. lubrica</i>	⑦ ⑨⑩	林内地上
〃	178. ゴムタケ <i>Bulgaria inquinans</i>	⑨⑩	倒木上
〃	179. ミズベノニセズキンタケ <i>Cudoniella clavus</i>	⑥⑦	流水辺
ウチヤウチ科	180. エツキクロコップタケ <i>Urnula craterium</i>	⑥⑦	枯枝
〃	181. オオゴムタケ <i>Galiella celebica</i>	⑦ ⑨⑩	倒木枯枝
ベニヤウチ科	182. シロキツネノサカズキ <i>Microstoma floccosa</i>	⑥⑦⑧⑨	水辺朽木上
ボリウチ科	183. ノボリリュウ <i>Helvella crispa</i>	⑧⑨⑩	林内地上

青葉山市有林（仙台市）のキノコ相

科名	種名	発生時期（月）	発生場所
ボリウタケ科	184. クロノボリリュウタケ <i>Helvella lacunosa</i>	⑧⑨⑩	林内地上
〃	185. アミガサタケ <i>Morchella esculenta</i>	⑥⑦⑧⑨	林内草地
アミガサタケ科	186. ヒロメノトガリアミガサタケ <i>M. csutata</i>	⑥⑦	林内地上
チャワンタケ科	187. オオチャワンタケ <i>Peziza vesiculosa</i>	⑦ ⑨⑩⑪	林内地上
ビロネタケ科	188. アラゲコベニチャワンタケ <i>Scutellinia scutellata</i>	⑨⑩	朽木
バツタケ科	189. コゴメクモタケ <i>Torrubiella minutissima</i>	⑨⑩	葉裏面
〃	190. ツクツクハウシタケ <i>Isaria sinclairii</i>	⑧⑨⑩	林内半地中

★印が付いた種は注意を要する毒のあるキノコであることを示す。